



Iwate こども・家族ケア研修会



責任者:原瑞恵 共同者:相墨生恵, 高橋佑里香, 佐々木美佳, 福士友

令和7年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

活動の概要

少子高齢化により小児と成人の混合病棟への移行が進んでおり、小児特有の看護経験の不足や小児看護実践に特化した教育プログラムが少ないことで、看護師が小児看護の特殊性に困惑していることが予測される。このことから、本研修会は、小児看護に携わる小児経験の浅い看護師を対象にし、子どもの最善を目指した看護ケアの実践と小児看護の質の維持・向上を目的とし開催した。

研修内容

- テーマ : 子どものフィジカルアセスメント
事例 : 気管支喘息の既往がある肺炎で入院となった子ども
方法 : 1. 講義 (子どものフィジカルアセスメント)
2. グループディスカッション
3. ロールプレイ (シミュレーション人形)
4. まとめ

活動成果

本研修会には5名の看護師が参加した。グループディスカッションで積極的に意見を出し合い、ロールプレイではどの参加者も日々の看護実践を振り返りながら演じている様子が伺えた。アンケートでは、全ての参加者が本研修会が小児看護実践に活かせると回答した。自分の技術やアセスメントを振り返る機会となったり、これまでの経験を参加者同士で共有することにより新しい気づきを得ていた。次年度以降も研修会を継続していくことで、小児看護の質の維持向上に貢献していけるよう努めていきたい。

